

一般社団法人 日本・ドミニカ共和国友好親善協会
第4回 World Baseball Classic 開催記念コラム
第四回：“Baseball training in the DR”

文：木下達生（元プロ野球選手）

ドミニカ共和国（以下「ドミニカ」）のトレーニングは朝が早い。まだ太陽も登らない時間帯にトレーニングは始まる。私は現役時代の2010、2011年の12月に自主トレのため、ドミニカを訪れていた。トレーニング施設¹は3部制になっており、ジュニア選手(15～18歳)は朝3時、MLB球団のマイナー選手は朝5時、同メジャー選手は朝7時となっていた。私はマイナー選手とウエイトトレーニングなどを共にし、メジャー選手のトレーニングが終わるのを待って、一緒にグラウンドに出かけた。グラウンドでは、キャッチボールとランニングを行う。そこから昼寝をして、夜はエスタディオ・キスケージャ（首都サントドミンゴにあるウインターリーグ2球団の本拠地²）で、ウインターリーグに参加する選手に混ざって練習参加と言う日々を過ごしていた。12月とは言え、ドミニカでは強い日差しもあり、日中は30℃に迫る気温になる。そんなときは昼寝をして涼しくなるまで待てばいい。これは、ドミニカで覚えた感覚である。



陽気なドミニカ人選手たちとトレーニングをする筆者（木下達生氏提供）

¹ ドミニカ共和国でも有名なトレーナーの元でトレーニングをする選手が多い。筆者は現役時代、ラチャーナ氏というドミニカ人が経営する施設で自主トレーニングを行った。

² ティグレス・デ・リセイとレオネス・デル・エスコヒーダの2球団。

ドミニカの人口は東京都にも満たないが、日本の10倍以上もの現役メジャー選手を輩出している。彼らがどのような環境で育っているのか非常に興味深い。ドミニカの野球事情は日本とは、かなり異なっている。まずプロになるためのドラフトがない。16歳になると契約交渉が解禁され、能力の高い選手は、MLB球団傘下の「アカデミー」と呼ばれる野球の育成施設に入る。16歳までは、プライベートアカデミーと呼ばれる「プロ養成を目的とした野球塾」に所属して、練習に励んでいる。それらの規模は様々で、何チームも作れるほど選手を抱えているところもあれば、数名程度の小規模なアカデミーもある。また、甲子園のようなアマチュア選手の注目を集める大会もないため、野球少年の目標はメジャーリーガーになることである。国民の大半が貧困層に属するドミニカでは、野球で活躍することが、裕福になる一番身近な方法なのである。あのサミー・ソーサも、小さい頃は靴磨きの少年だったというから驚きである。



中日ドラゴンズでもプレーしたジョエル・グスマン選手（左写真）、元アリゾナ・ダイヤモンドバックスのラファエル・ロドリゲス選手（右写真）と楽しくトレーニングする筆者（木下達生氏提供）

また日本では、野球はお金がかかるイメージがあるが、ドミニカでは、貧しくても野球ができる環境がある。トレーニング費用に関しては、私がトレーニングをしていた施設もジュニア選手は無料で、プロ選手は稼ぎに応じて金額が上がっていくというシステムを採用していた。そのため、ジュニア選手にも質の高いトレーニングが提供されていた。私と一緒にトレーニングしていた選手たちも、昔から同施設に通っている選手が多かった。活躍することで若い選手にトレーニング環境が還元されていくシステムがあることに心の温かさを感じた。



トレーニング後のマッサージを受ける筆者（左写真）、ドミニカの少年達と交流する筆者（右写真）
（木下達生氏提供）

最後に、ドミニカ人のソウルフード、「アビチュエラ」を紹介したい。これは、衝撃的で、特に印象に残っている。豆と野菜を煮込んだスープをご飯にかけて食べるため、栄養は満点である。スープの色がピンク色だったため、最初は抵抗があったが、一口食べた瞬間に、虜になった。WBC ドミニカ共和国代表のエネルギー源であることは間違いない。



ドミニカ人の「ソウルフード」アビチュエラがある食卓（木下達生氏提供）



北海道日本ハムファイターズでもプレーしたエリック・アルモンテ選手と筆者（木下達生氏提供）



WBC ドミニカ共和国代表のエディソン・ボルケス（マイアミ・マーリンズ所属）投手と筆者
(木下達生氏提供)

筆者紹介

木下達生（きのしたたつお）

1987年生まれ。元プロ野球選手（投手）。高校時代は第76、77回の選抜甲子園大会に出場。2005年のドラフト会議で北海道日本ハムファイターズから3位指名を受け入団。その後、中日ドラゴンズ、東京ヤクルトスワローズでも活躍。現役時代のオフに、自主トレーニングの一環として、ドミニカ共和国のリセイ、ヒガンテス両球団で練習生として参加。2012年の現役引退後は大学へ通い、教員免許を取得。現在は高校野球の指導者として活躍中。